

本時の目的：資料を活用し、SDG s を理解し、未来のために自分たちにできることを考える。

1 SDG s って何？ (復習)

持続可能な開発目標 (SDGs: **S** **D** **G** **s**) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された⁽²⁾ 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

2 あなたが思う、1番大事な項目 (意見交換)



✓ SDGsの基本単語
 poverty 貧困
 hunger 飢餓
 well-being 幸福、健康
 gender equality ジェンダー平等
 sanitation 衛生
 affordable 入手可能な、手ごろな
 decent work きちんとした仕事
 responsible consumption 責任ある消費
 global warming 地球温暖化
 greenhouse effect gas 温室効果ガス
 renewable energy 再生可能エネルギー

あなたが思う、1番大事な項目は？
 (番号:)
 理由

3 注目されにくい項目を学ぼう (授業前の集計より)

① 【17: パートナシップで目標を達成しよう】

私たちにできること

Partnerships は
 協力関係 共同 提携
 国と国だけではない
 みんなが同じ立場で
 協力することがスタートになる!

私たちにできること

全ての項目は、17「PARTNERSHIPS FOR THE GOALS」と関連あり

Target 17.2.
 先進国は、開発途上国に対する ODA を⁽³⁾)に、
 後発開発途上国に対する ODA を GNI 比 0.15~0.20% に
 するという目標を達成するとの中略 ...完全に実施する。

⁽⁴⁾ODA: **O** **D** **A** (政府開発援助)
 「開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関
 による国際協力活動 (開発協力)」のための公的資金

外務省など公的機関を主とする取組

海賊対策

- イエメンやオマーンの海上保安機関の日本での研修実施等により沿岸国の取締り能力を向上
- ソマリア人道支援により、海賊問題の根本的な解決に取り組み

→年間2,000隻の日本船舶が航行。我が国の安全・繁栄に直結

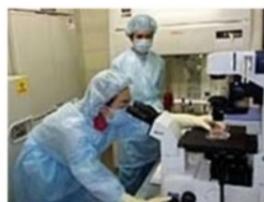


日本の海上保安庁による研修の様

感染症対策

- アジア諸国をはじめとする途上国の対処能力を向上
- ベトナム国立衛生疫学研究所への無償及び技術協力により、同国の鳥・新型インフルエンザを含む感染症対策能力を大きく向上

→我が国への感染症伝播の可能性の低減に貢献



日本の支援で整備された検査実験室

人材育成・法制度整備

- アジアをはじめとする途上国の人材育成や法制度整備のための技術協力を実施

→被援助国の経済発展に寄与し、日本企業の進出基盤を整備



ベトナムにおける法・司法制度改革支援プロジェクトの実施状況

「具体的協力例」 出典：外務省 HP

② 【12: つくる責任 つかう責任】 **実は一番身近で実行しやすい!!!**

あなたの生活で、実行しているものに○、時々実行しているものに△、実行していないものに×をつけて生活チェックをしよう。また、それぞれの項目を3Rに分類し、d (Reduce), u (Reuse), c (Recycle) で答えよう。

(Reduce — 買う量や使う量を減らす Reuse — 再使用 Recycle — 資源として再利用)

	環境を守る暮らし	実行度	分類
1	歯みがきや食器洗いの時に、水道を流し放しにしていない。		
2	台所洗剤は使いすぎないようにしている。		
3	使っていない照明や見えていないテレビなどはこまめに消している。		
4	冷房の温度はできるだけ高め、暖房は低めにし、使用時間もできる限り少なくしている。		
5	食物を買いすぎない、作りすぎない。		
6	ティッシュペーパーは、できるだけ使わないようにしている。		
7	自分の家で使うものは、店での包装を断るようになっている。		
8	買い物には、ショッピングバッグ等を持参して、ポリ袋や紙袋はもらわない。		
9	洗剤・シャンプーやコーヒー等詰替用があれば、それを利用している。		
10	食品などでプラスチックトレイに入ったものは買わない。		
11	紙皿・紙コップ・割りばしなどは使わないようにしている。		
12	エコマークのついたものを選んで買う。		
13	生ゴミは、堆肥にしている。		
14	不用になったものは、バザー、ガレージセール、不用品交換に出す。		
15	新聞紙やアルミ缶は、リサイクルするための回収に出す。		
16	牛乳の紙パックやプラスチックトレイは、リサイクルするための回収に出す。		
17	ペットボトルは、リサイクルするための回収に出す。		
18	電気製品や家庭用品が壊れたり故障したら、まず修理を考える。		
19	布製品は、リフォームしたり、汚れふきにしたりする。		
20	包装紙は、メモ用紙などに再利用する。		

上表の結果から、○印を2点、△印を1点として合計点を求め、30点以上をA、29~15点をB、14点以下をCとして、あなたの環境関心度を調べよう。

あなたの合計点	/40点	環境関心度
---------	------	-------

出典：環境省 HP

4 確認テスト (本時を振り返り空欄に入る適語を選択肢の中から選ぼう)

SDGs は「」を誓っています

- ① No pain no gain
 - ② Leave no one behind
 - ③ One for all, all for one
 - ④ Where there's a will, there's away
- Answer

5 本時の自己評価・感想

下表は、本時の教科横断型授業について、自身の取組を振り返り、自己評価するための評価基準です。各観点について、評価3の記載内容を高校1年生として標準的なレベルとします。ルーブリックを参照しながら自身の取組を振り返り、各項目について、「低い：(1)、2、3、4、(5)：高い」のいずれかの評価をしてください。特に達成度の高い項目と特に達成度が低い項目については、1と5の評価をしてください。

評価の観点	評価			自己評価
	(~)4	3	2(~)1	
自己分析 (家庭)	標準的なレベル(3)を越えて達成できた。 過去の自分を振り返り、 未来に向けた改善の為に手立てを考えた ことができた。	標準的なレベル(3)をおおむね達成できた。 過去の自分を振り返ることができた。	標準的なレベル(3)を達成したとはいえない。 過去の自分を 振り返ることができなかった 。	
資料の活用 (英語・公民)	資料を活用し、 自分の意見をまとめて表現することができた 。	資料を活用し、SDGsの現状をつかもうとすることができた。	資料を 活用することができなかった 。	
SDGsに関する理解 (英語・家庭・公民)	SDGsについて、正しく理解し、 他者に説明することができる 。	SDGsについて、正しく理解することができた。	SDGsのことはあまり 理解できなかった 。	
本時の感想				